



ペットボトルのフタを捨てずに再利用！ 効き目抜群な手づくりホウ酸団子

レディースクラブ古江支部
古田・井口グループ

「年齢や身体的な問題にも関係なく、誰でも無理なくできる活動を」

台所や物置など、ゴキブリが出没しそうな場所で大活躍するのがホウ酸団子。レディースクラブ古江支部は6月18日、古田・井口グループ合同で「ホウ酸団子づくり」を井口支店で開催しました。会員たちは、タマネギや小麦粉、米ヌカなどをホウ酸にまぜて手でこねて、持ち寄ったペットボトルのフタを使って、一人約100個の団子を作りました。支部では年間を通して焼肉のタレやエコ石鹸、しめ縄、料理、陶芸など、数多くの教室を開きますが、中でも「効き目が抜群で欠かせない！」とホウ酸団子づくりは大人気。参加できなかった会員の方も、みんなで協力して作っています。井口グループ



▲ペットボトルのフタを捨てずに再利用しています

の酒井絹枝代表は、「助け合い、誰もが無理のない範囲で活動を続けていけることが大切」と今後の活動への抱負を話します。



▼入院や急な用事で参加できない会員たちの分も手分けして制作。困ったときはお互いさまと、会員同士で助け合っています



JA広島市レディースクラブは、持続可能な社会の実現に向けてSDGsに取り組んでいます。



第39回

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

JA広島市の自己改革

JA広島市レディースクラブがJA女性組織仲間づくり旅行企画で表彰

JA広島市レディースクラブが行うレディース講座の中で実施している野外研修が、女性組織を活性化させる優良な取り組みであるとして、『令和2年度JA女性組織仲間づくり旅行企画』の表彰を受けました。

この表彰は、JA全国女性組織協議会が農協観光と連携して、JA女性組織の活動を魅力的なものにするために行っているもので、復興応援や交流、学習、生きがいづくりといったテーマに沿った内容で、仲間づくりや会員の拡大につながる取り組みである旅行企画をJA全国女性協通常総会で表彰しています。今年は5月26日に開催された総会で4組織の受賞が発表されました。表彰式も行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でリモートでの開催となったため、後日送付された表彰状を吉川清二組合長からレディースクラブの山田豊子会長へ手渡しました。



吉川組合長から山田会長へ表彰状を手渡しました

JA広島市レディースクラブでは、20会場でレディース講座を開講。年間5講座のうちの1講座で、毎年野外研修を実施しています。令和2年度は、各会場合計で943名がレディース講座を受講し、うち416名が野外研修に参加しました。コロナ禍で講座自体の実施も危ぶまれたなか、全会場ともソーシャルディスタンスなど感染防止対策を徹底したうえで開講しました。山田会長は「毎年行ってきたことが評価されてうれしい。コロナ禍でレディースクラブ全体の活動ができないなか、各支部でレディース講座などの活動を活発に行い、新たな仲間も増えている。ぜひ野外研修にも参加していただき、会員同士の絆を育ててほしい」と受賞の喜びと今後の活動への意欲を語りました。